

アウトバウンド型オープンイノベーションの実践 (技術導出型)

開催日時・会場

東京会場

2017年2月22日(水) 15:30~17:00

トラストシティカンファレンス・丸の内
東京都千代田区丸の内1-8-1
丸の内トラストタワーN館11階

大阪会場 (共催: Osaka Innovation Hub)

2017年2月17日(金) 15:30~17:00

Osaka Innovation Hub
大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大
阪 ナレッジキャピタルタワーC 7階

参加費: 無料 (定員30名)

定員を超過した場合は、抽選となります。

講師

東京会場 河崎 雄介 (株)ナインシグマ・ジャパン

デンソー、日本能率協会コンサルティングを経て、(株)ナインシグマ・ジャパン入社。幅広い業界の開発・生産技術部門におけるオープンイノベーションを支援。

大阪会場 若宮 俊太郎 (株)ナインシグマ・ジャパン

花王を経て、(株)ナインシグマ・ジャパン入社。化学、材料分野のみならず、自動車や機械・エンジニアリング分野なども対象に幅広くオープンイノベーション活動を支援。

参加対象

対象とする分野・部門におけるオープンイノベーション推進者の方

- オープンイノベーションを開発プロジェクトで活用するための、具体的な手法や事例を知りたい。
- 国内の中小企業・アカデミアのみならず、海外の組織からも技術を導入していきたい方の参加をお待ちしております。
- オープンイノベーションにご興味のある若手技術者のご参加も歓迎いたします。

本セミナーのねらい

近年、製造業を中心に、製品の開発・製造のスピードや生産性向上を目的にオープンイノベーション活動への関心が高まっています。オープンイノベーションには、技術上の課題の解決や未充足な部分を補完するための技術や新規事業・テーマを推進するためのアイデアや技術を求めるインバウンド型(技術導入型)と自社技術や知を社外に出し、新たな価値を創出するためのアウトバウンド型(技術導出型)に大別できます。

今回対象とするアウトバウンド型では、社外に出す技術が一体何に活用できるのか、その根拠となる強みは何であるかといったことを技術を出す側がしっかりと理解しておく必要があり、その上で、興味を持ってくれるパートナーを探索しなくてはなりません。アウトバウンド型のオープンイノベーションは、自社技術の有効活用といった点で、多くの企業が興味をもたれる内容であるが、適切な技術の出し方、パートナーを求める姿勢など、一朝一夕では出来ることではありません。

そこで、本セミナーでは、ナインシグマの事例紹介等を通じて、アウトバウンド型オープンイノベーション実践のためのヒントを得ていただくことを目的としています。

プログラム

1. オープンイノベーションの概要
2. アウトバウンド型オープンイノベーション事例
3. 社外に自社技術を出す際のポイント
4. ナインシグマのプログラム

参加申込方法

以下のURLの参加申込フォームに必要事項を入力してください
http://ninesigma.co.jp/seminar/app_1702.php

2017年3月度は、「企業におけるオープンイノベーションの仕組みの構築」を開催します。

3月度以降のセミナー予定は、弊社ホームページよりご確認ください。
(<http://ninesigma.co.jp/seminar/>)

問い合わせ先

株式会社ナインシグマ・ジャパン セミナー事務局
住所: 〒101-0047 東京都千代田区
内神田1-3-3 FORECAST内神田 5F
電話: 03 (3219) 2004
FAX: 03 (3219) 2008
Eメール: seminar@ninesigma.co.jp